

テーマ 販路・市場の開拓

伝統技術と新感覚の融合で、新市場・販路開拓を目指す

静岡仏壇卸商工業協同組合

仏壇技術と顧客ニーズに対応した新たな感覚を融合させた仏壇の開発に取り組み、仏壇仏具メッセを継続的に開催。市場・販路開拓を積極的に展開している。

背景と目的

ここ数年、静岡の仏壇製造卸業者を取り巻く環境は、中国やベトナムなどからの安価な輸入品が流入したことによる価格競争に加え、仏壇市場の成熟化・縮小化に伴う国内産地間競争の激化など厳しさを増しており、廃業などから、当組合の組合員数はピーク時の半数にまで減少している。

本事業への取り組みの背景には、以上のような組合及び組合員に強い危機感があることが挙げられる。こうした状況を打破するため、伝統技術に加えて、顧客ニーズに合致した新しい感覚を取り入れた

新作の商品化を通じ、静岡の仏壇を差別化しようと、積極的に販路・市場開拓に取り組んでいる。

事業・活動の内容

デザインや機能性を重視した、従来の概念にとらわれない独自の製品の開発に取り組み、その成果を毎年開催する展示会（「しずおか仏壇・仏具メッセ」）で披露。

2007年のメッセでは、「こんな仏壇あったらいいな」をテーマに新作のコンテストも実施。壁掛け式やリモコンで扉の開閉ができる仏壇など斬新なデザインで、関心を集めた。

開催期間中には、モニタリング・アンケート調査を実施。今後の仏壇製作に消費者の意見をフィードバックするなどのエンドユーザーに対するマーケティング活動も展開した。

2009年のメッセでは、女性デザイナーを起用し「女性が考えた、

女性が求める、女性のための仏壇」をテーマに掲げ、品のある優しい仏壇を発表。加えて、故人の思い出の品々を飾ることができる「ギャラリーボックス」としての要素も持たせた仏壇も開発をするなど、新基軸を次々と打ち出している。

活動の成果

モニタリングやアンケート調査の結果に基づいた商品開発を進め、従来の仏壇のイメージを一新するよう斬新で機能的な新作が次々と誕生。仏壇購入者の3/4を占める女性に対し、新しい静岡の仏壇を強く訴求することに成功した。

新たな試みとして、昨年度まで14年間にわたり、地元静岡で開催していた展示会を今年度は京都市で開催。九州



伝統と現代の感覚を調和させたものや斬新なデザインの作品が続々お目見え



女性デザイナーが女性の視点からデザインした仏壇

を始めとする西日本地域に静岡仏壇を積極的にアピールし、新市場開拓の足がかりとする考え。また、住宅メーカーやインテリア業界などの異業種との連携も視野に入れた、販路・市場開拓の仕掛け作りにも取り組んでいく。

静岡仏壇卸商工業協同組合

住所：〒420-0042 静岡県静岡市葵区駒形通5-2-7
 設立：昭和41年7月
 出資金：2,550千円
 電話：054-255-9126
 URL：http://www4.tokai.or.jp/S-butudankumiai/
 業種：仏壇・仏具製造卸
 組合員：17人
 組合専従者：2人